

## 小野神社に旧宮神輿(建造 200 年)が 84 年ぶりに帰ってくる！ 二つの神社の縁えにし

文政 3 年(1820 年)に小野神社氏子中及び講中等で建造し奉納され、昭和 11 年(1932 年)に国分寺市本多八幡神社に譲渡された宮神輿が、建造 200 年を迎える本年、建造元の小野神社に里帰りします。

大正 15 年(1926 年)に発生した火災では、社殿は消失したものの、「木造隨身倚像」(都指定有形文化財)と神輿は地域の人に運び出され消失を免れたそうです。この後空襲などの戦禍もかいくぐり 200 年の長きにわたり 2カ所の神社に奉納された神輿は、文化財的価値もさることながら、それぞれの地域の人々の支えとなり、受け継がれています。

神輿の里帰りは全国でもあまり例がなく大変珍しいことであり、また、歴史・文化、民俗・風習の視点で地域の魅力発信、地域の活性化にも寄与するものであるという視点からここにご紹介し、取材をお願いするものです。



平成 17 年(2005 年) 1 月撮影

【出典】財団法人多摩市文化振興財団 2005『武蔵国一之宮～多摩市一ノ宮小野神社の変遷～』

### 1 歴史

国分寺市本多八幡神社の神輿は、文政 3 年(1820 年)に多摩市一ノ宮小野神社氏子中及び講中・関係者各位の協力により製作、小野神社に奉納され、昭和 7 年(1932 年)までの 112 年間の長きにわたり武蔵総社大國魂神社の例大祭に「道中神輿」と呼ばれて参加渡御していた。

昭和 11 年(1936 年)縁により国分寺市の本多八幡神社に奉納され、今日までの 80 有余年にわたり手厚い維持管理のもと活用されている。

## 2 神輿の里帰り祭概要

(1)実施日 令和2年4月5日(日)※せいせきさくらまつり開催日

(2)主 催 「御神輿の里帰り祭」祭典委員会、多摩市一ノ宮「小野神社」、国分寺市本多「本多八幡宮」

(3)行 程 (案)

①一ノ宮着 (8:30)「渡御準備」⇒渡御「20～30分」⇒小野神社着 (10:00)「拝殿前」

②神事 (10:00)「里帰り報告祭・拝殿」⇒直会・昼食「社務所」

③巡行 (13:00～16:00)「神社発・参道・川崎街道 (小野神社入り口→聖蹟桜ヶ丘駅=往復)」⇒小野神社着 (16:00)⇒本多八幡神社神輿送り出し

※行程内容時間は変更する場合あり

## 3 問い合わせ・取材先

小野神社責任役員 小暮和幸氏(小暮様の連絡先は広報担当課長にお問い合わせください。)

企画政策部秘書広報課広報担当課長

TEL 042(338)6812